

5 環境について

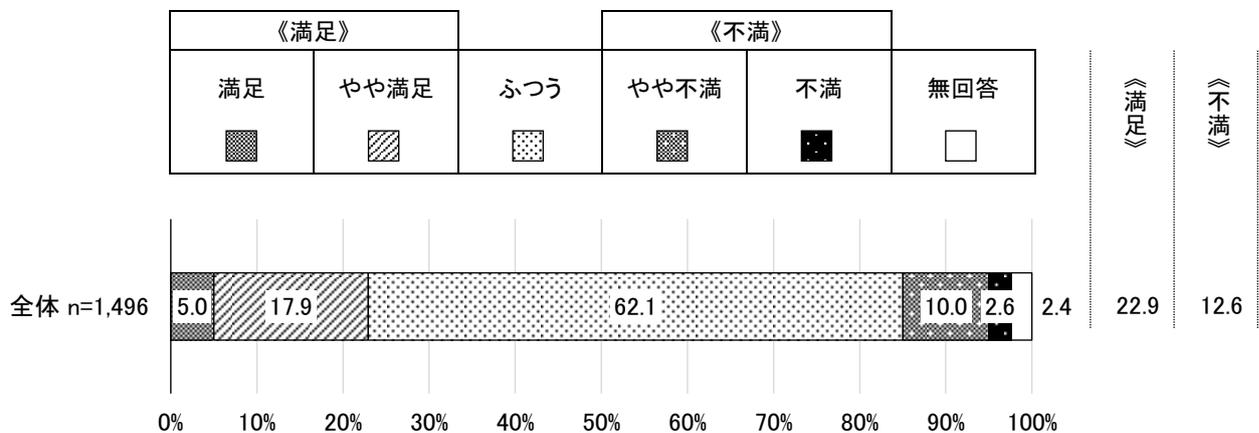
(1) 川越市の環境への満足度

◇ 《満足》が22.9%

問 34 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。(1つのみ)

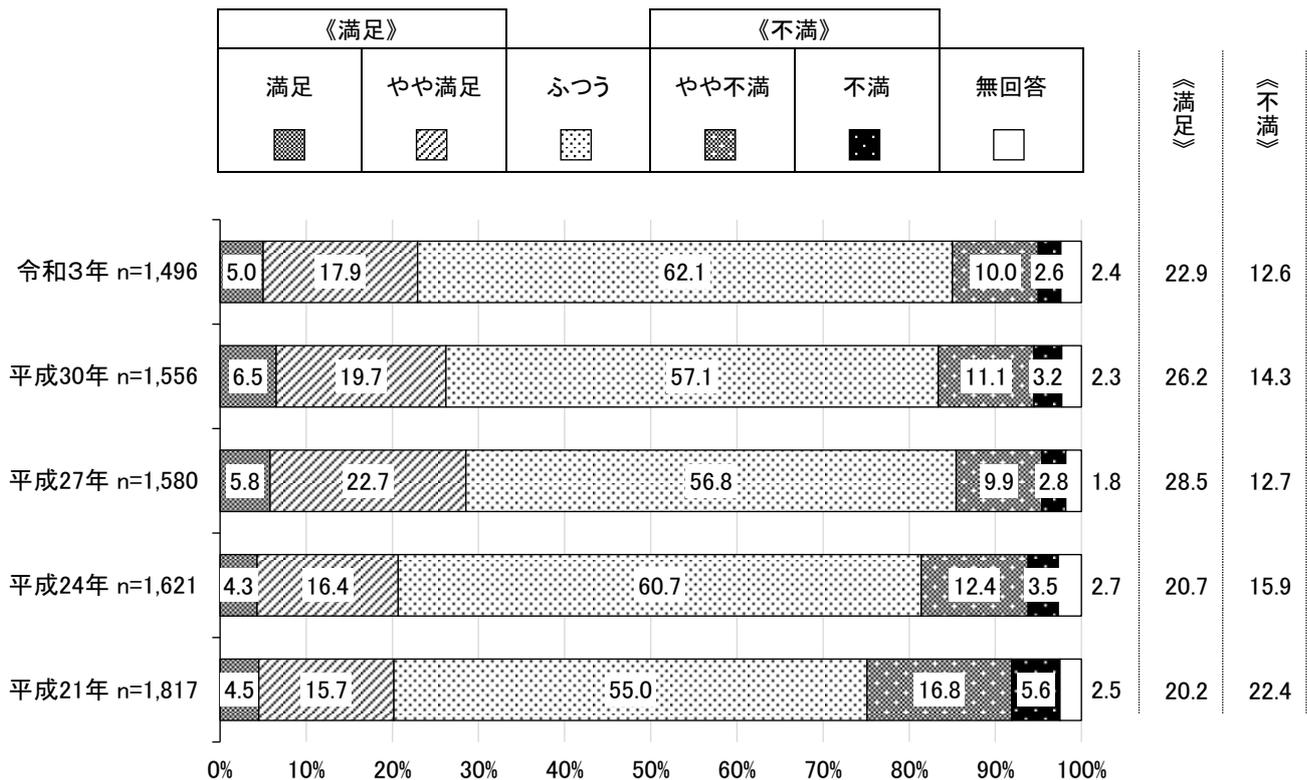
※「環境」とは、地球温暖化、廃棄物問題、生物の多様性、都市のみどりまで幅広く捉えた環境を想定しています。

川越市の環境への満足度については、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》が22.9%である一方、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は12.6%と、《満足》が10.3ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《満足》は前回調査より3.3ポイント減少し、《ふつう》は5.0ポイント増加している。



■性別・年代別

性別・年代別でみると、《満足》は女性 20 歳代で約 3 割と高くなっている。一方で、《不満》は男性 70 歳以上で 2 割近くと高くなっている。

単位: %	《満足》			《不満》			《満足》 合計値	《不満》 合計値
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答		
全体 n=1,496	5.0	17.9	62.1	10.0	2.6	2.4	22.9	12.6
【性別・年代別】								
男性 n=593	5.4	18.2	63.2	8.3	2.2	2.7	23.6	10.5
男性 18・19歳 n=4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 20歳代 n=67	3.0	17.9	67.2	9.0	1.5	1.5	20.9	10.5
男性 30歳代 n=85	9.4	16.5	65.9	7.1	0.0	1.2	25.9	7.1
男性 40歳代 n=121	5.8	19.8	66.9	4.1	2.5	0.8	25.6	6.6
男性 50歳代 n=95	6.3	21.1	65.3	5.3	1.1	1.1	27.4	6.4
男性 60歳代 n=101	3.0	17.8	63.4	10.9	3.0	2.0	20.8	13.9
男性 70歳以上 n=118	4.2	16.1	53.4	13.6	4.2	8.5	20.3	17.8
女性 n=874	4.8	17.8	61.8	10.8	2.9	1.9	22.6	13.7
女性 18・19歳 n=13	0.0	23.1	69.2	7.7	0.0	0.0	23.1	7.7
女性 20歳代 n=109	7.3	22.0	63.3	5.5	0.9	0.9	29.3	6.4
女性 30歳代 n=160	5.0	18.1	60.6	11.9	4.4	0.0	23.1	16.3
女性 40歳代 n=171	4.1	18.7	60.8	10.5	2.9	2.9	22.8	13.4
女性 50歳代 n=110	6.4	15.5	63.6	10.9	1.8	1.8	21.9	12.7
女性 60歳代 n=137	3.6	13.9	64.2	13.1	2.2	2.9	17.5	15.3
女性 70歳以上 n=172	4.1	18.6	58.7	11.6	4.1	2.9	22.7	15.7

■居住地区別

居住地区別でみると、《満足》は『川鶴地区』が 36.0%で最も高く、次いで『大東地区』が 28.8%、『高階地区』が 26.5%となっている。一方で、《不満》は『山田地区』が 18.2%で最も高く、次いで『福原地区』が 18.0%、『芳野地区』が 17.1%となっている。

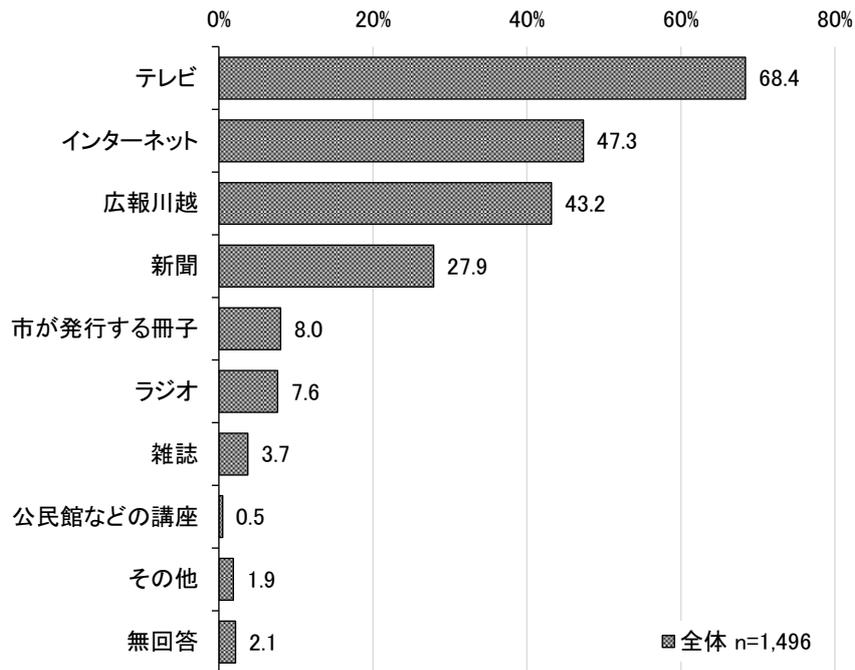
単位: %	《満足》			《不満》			《満足》 合計値	《不満》 合計値
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答		
全体 n=1,496	5.0	17.9	62.1	10.0	2.6	2.4	22.9	12.6
【居住地区別】								
本庁地区 n=316	4.1	18.4	62.3	10.8	2.8	1.6	22.5	13.6
芳野地区 n=41	2.4	17.1	61.0	12.2	4.9	2.4	19.5	17.1
古谷地区 n=58	6.9	10.3	65.5	10.3	1.7	5.2	17.2	12.0
南古谷地区 n=135	4.4	14.1	71.1	6.7	2.2	1.5	18.5	8.9
高階地区 n=189	6.9	19.6	56.1	12.7	2.1	2.6	26.5	14.8
福原地区 n=78	1.3	10.3	70.5	10.3	7.7	0.0	11.6	18.0
大東地区 n=139	7.9	20.9	60.4	7.2	2.2	1.4	28.8	9.4
霞ヶ関地区 n=175	4.0	17.1	69.1	5.7	2.3	1.7	21.1	8.0
川鶴地区 n=75	6.7	29.3	46.7	10.7	1.3	5.3	36.0	12.0
霞ヶ関北地区 n=48	6.3	16.7	60.4	10.4	4.2	2.1	23.0	14.6
名細地区 n=100	6.0	18.0	65.0	9.0	0.0	2.0	24.0	9.0
山田地区 n=77	3.9	20.8	54.5	18.2	0.0	2.6	24.7	18.2

(2) 環境に関する情報の入手先

◇「テレビ」が68.4%

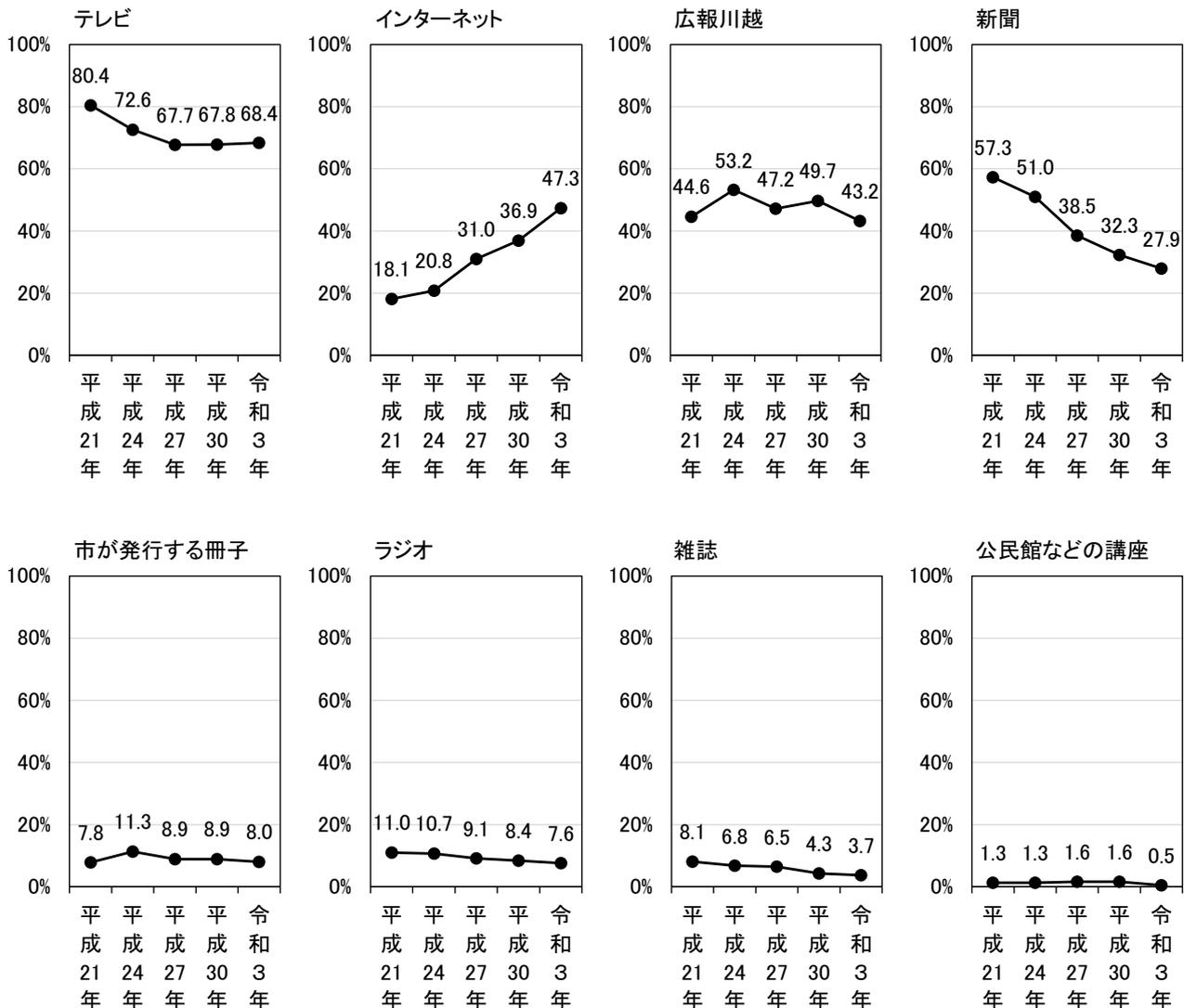
**問 35 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

環境に関する情報の入手先については、「テレビ」が68.4%で最も高く、次いで「インターネット」が47.3%、「広報川越」が43.2%、「新聞」が27.9%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、「インターネット」は増加傾向となっており、前回調査より 10.4 ポイント、平成 21 年と比べて 29.2 ポイント増加している。一方で、「新聞」は減少傾向となっており、前回調査より 4.4 ポイント、平成 21 年と比べて 29.4 ポイント減少している。また、「テレビ」は平成 27 年までは減少傾向であったものの、以降は横ばいで推移している。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「テレビ」は女性60歳代で8割を超えて高くなっている。「インターネット」は男性30歳代で8割近くと高くなっている。「広報川越」は女性70歳以上で7割近くと高くなっている。「新聞」は男性70歳以上で約6割と高くなっている。

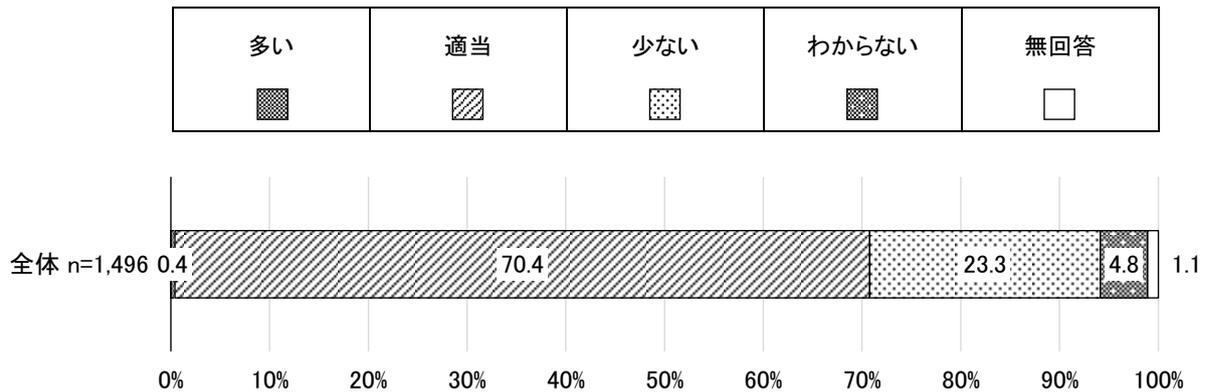
	テレビ	インターネット	広報川越	新聞	市が発行する冊子	ラジオ
単位：%						
全体 n=1,496	68.4	47.3	43.2	27.9	8.0	7.6
【性別・年代別】						
男性 n=593	65.6	53.3	37.1	30.5	8.6	9.6
男性_18・19歳 n=4	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0
男性_20歳代 n=67	65.7	64.2	22.4	1.5	4.5	9.0
男性_30歳代 n=85	55.3	77.6	25.9	11.8	10.6	8.2
男性_40歳代 n=121	62.8	70.2	29.8	14.0	3.3	9.9
男性_50歳代 n=95	63.2	55.8	43.2	36.8	7.4	10.5
男性_60歳代 n=101	69.3	50.5	36.6	45.5	9.9	7.9
男性_70歳以上 n=118	75.4	11.9	57.6	59.3	14.4	11.9
女性 n=874	70.4	43.8	47.8	25.9	7.6	6.4
女性_18・19歳 n=13	53.8	69.2	7.7	0.0	7.7	0.0
女性_20歳代 n=109	66.1	60.6	24.8	9.2	4.6	2.8
女性_30歳代 n=160	58.8	57.5	37.5	8.8	6.3	3.1
女性_40歳代 n=171	72.5	61.4	50.9	12.3	7.0	6.4
女性_50歳代 n=110	72.7	50.9	50.0	21.8	5.5	6.4
女性_60歳代 n=137	82.5	21.9	50.4	43.1	9.5	12.4
女性_70歳以上 n=172	72.7	14.5	68.6	56.4	11.0	7.6

(3) 資源ごみの収集回数への認識

◇「適当」が70.4%

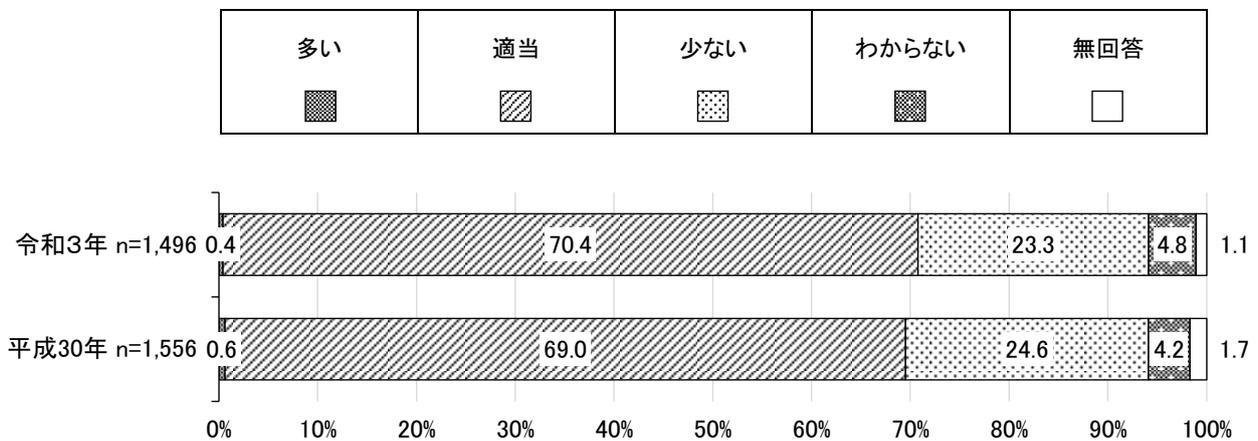
問 36 収集回数は適当だと思いますか。(1つのみ)

資源ごみの収集回数への認識については、「適当」が70.4%で最も高く、次いで「少ない」が23.3%、「多い」が0.4%となっている。なお、「わからない」は4.8%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、前回調査と大きな差はみられない。

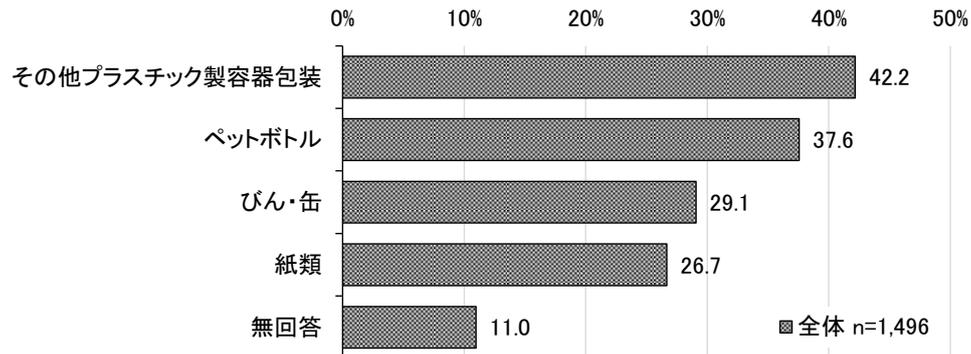


(4) 収集回数を増やす品目

◇「その他プラスチック製容器包装」が42.2%

問 37 収集回数を更に増やすなら、品目は何が良いですか。(いくつでも)

収集回数を増やす品目については、「その他プラスチック製容器包装」が42.2%で最も高く、次いで「ペットボトル」が37.6%、「びん・缶」が29.1%、「紙類」が26.7%となっている。

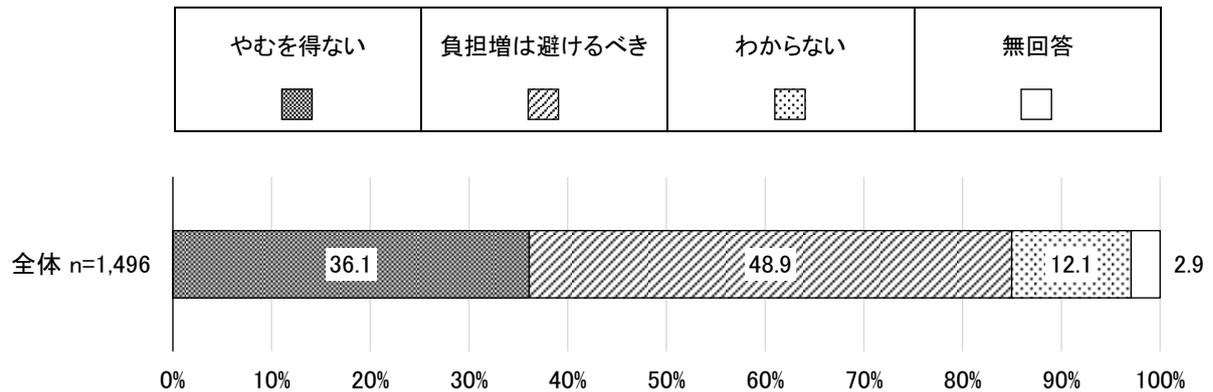


(5) 収集回数を増やすための経費

◇「負担増は避けるべき」が48.9%

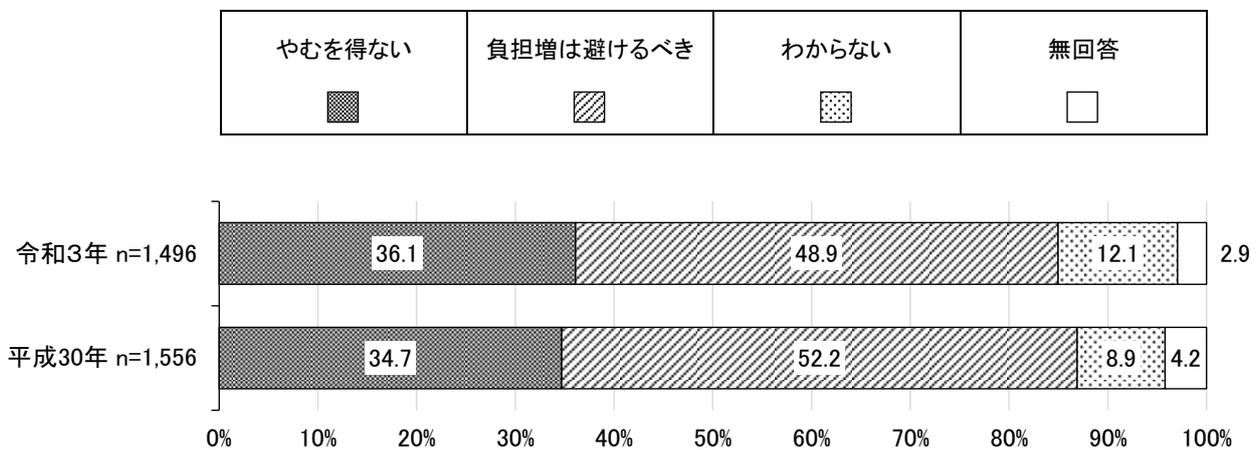
問 38 収集回数を増やすため、経費が増えることについて、どのように思いますか。(1つのみ)

収集回数を増やすための経費については、「やむを得ない」が36.1%、「負担増は避けるべき」が48.9%と、「負担増は避けるべき」が12.8ポイント上回っている。



■時系列での比較

時系列でみると、「負担増は避けるべき」は前回調査より3.3ポイント減少し、「やむを得ない」は1.4ポイント増加している。

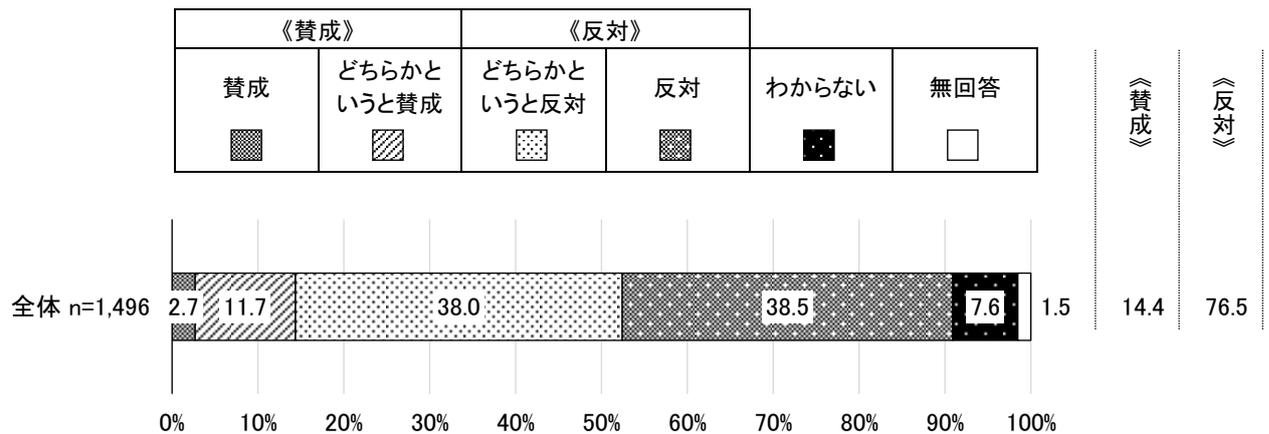


(6) 家庭ごみ収集の有料化

◇ 《反対》が76.5%

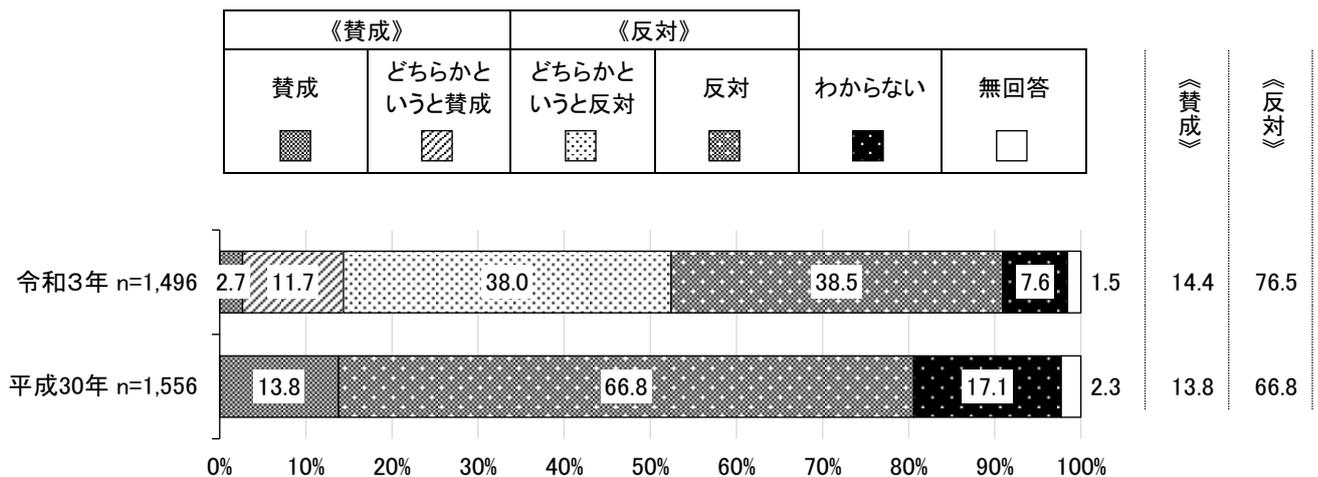
問 39 ごみ処理費用負担の公平性の観点から、家庭ごみ収集を有料化することについて、どのように思いますか。(1つのみ)

家庭ごみ収集の有料化については、「賛成」、「どちらかという賛成」の合計値《賛成》が14.4%である一方、「どちらかという反対」、「反対」の合計値《反対》は76.5%と、《反対》が62.1ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《賛成》は前回調査と大きな差はみられないものの、《わからない》は9.5ポイント減少し、《反対》が9.7ポイント増加している。



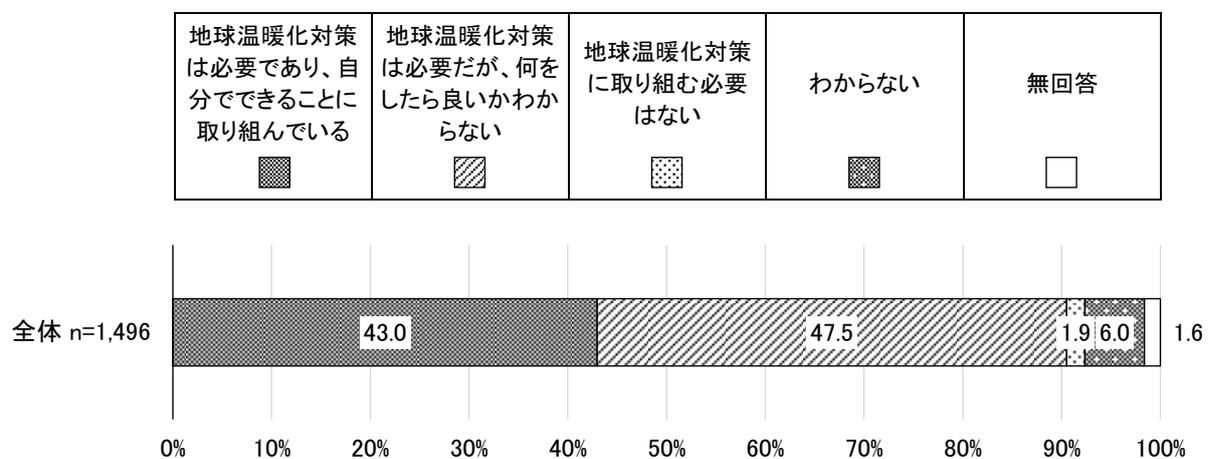
(7) 地球温暖化対策への考え方

◇「地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない」が47.5%

問 40 川越市は、「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明し、2050年脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進します。

あなたは、地球温暖化対策について、どのように思いますか。(1つのみ)

地球温暖化対策への考え方については、「地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない」が47.5%で最も高く、次いで「地球温暖化対策は必要であり、自分でできることに取り組んでいる」が43.0%、「地球温暖化対策に取り組む必要はない」が1.9%となっている。なお、「わからない」は6.0%となっている。



(8) まちの緑化への活動内容

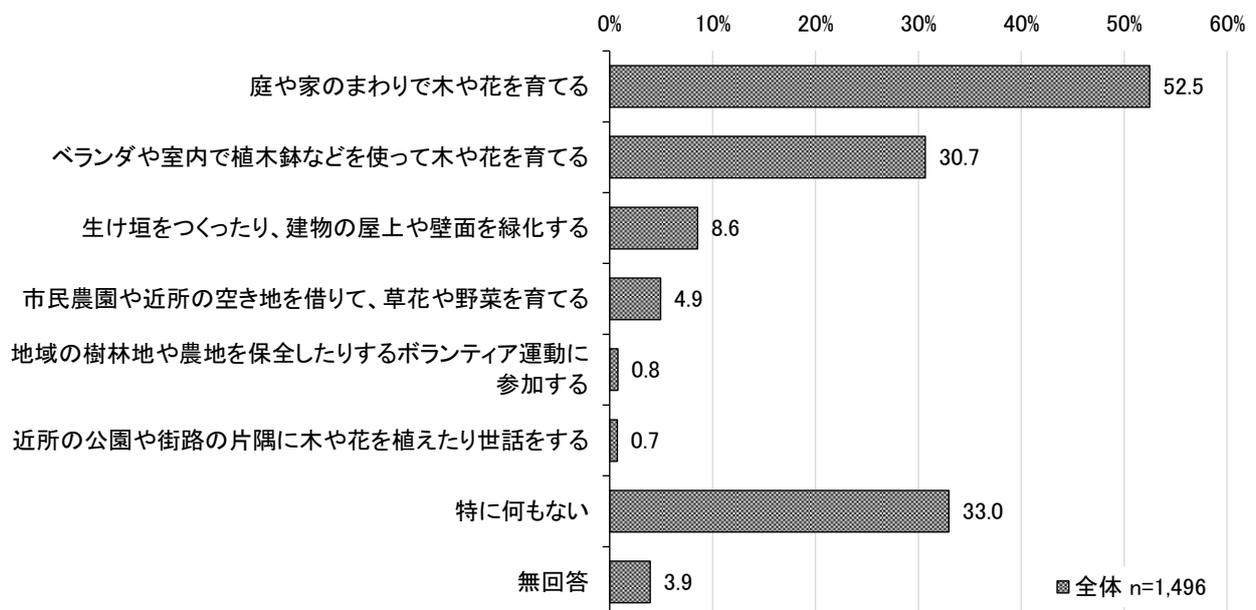
◇現在している活動：「庭や家のまわりで木や花を育てる」が52.5%
 ◇今後したい活動：「庭や家のまわりで木や花を育てる」が17.4%

問 41 あなたは、緑を増やすために、①現在どのようなことをしていますか。また、②今後どのようなことをしたいですか。

※①、②のそれぞれに回答してください。(それぞれいくつでも)

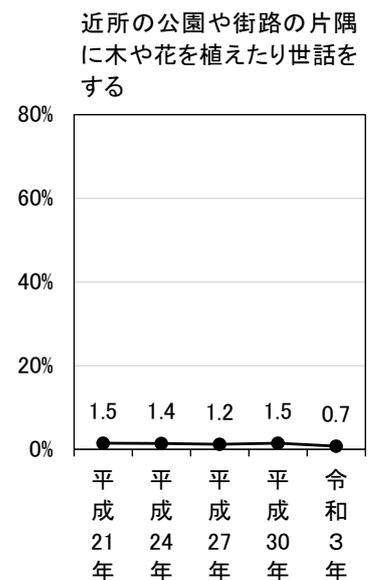
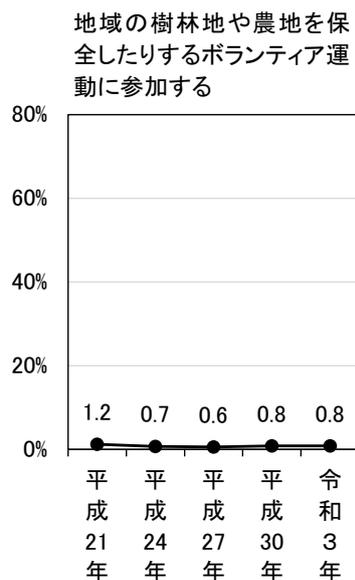
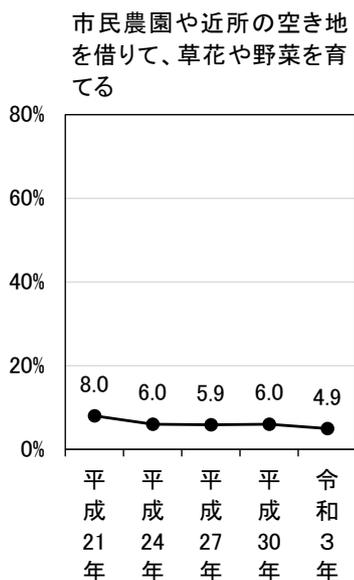
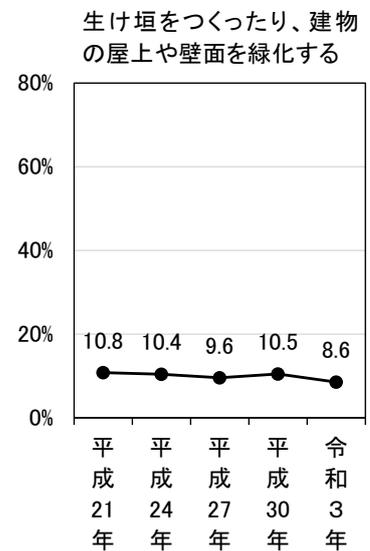
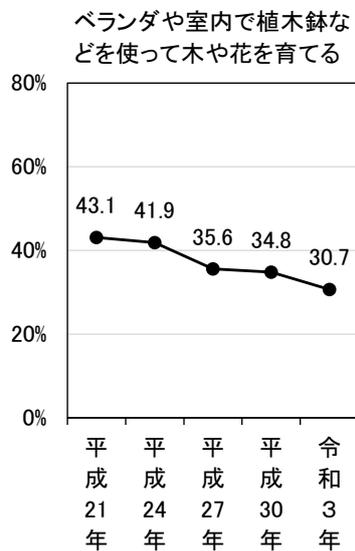
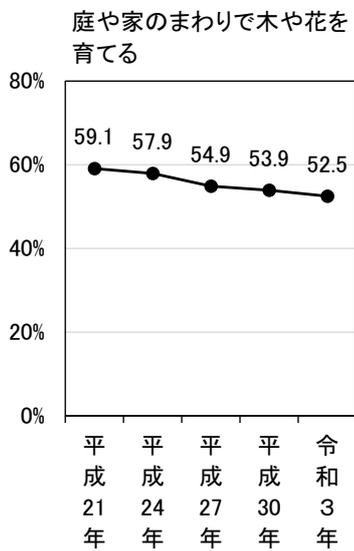
■現在している活動

まちの緑化への活動内容（現在している活動）については、「庭や家のまわりで木や花を育てる」が52.5%で最も高く、次いで「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が30.7%、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」が8.6%、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」が4.9%となっている。なお、「特に何も無い」は33.0%となっている。



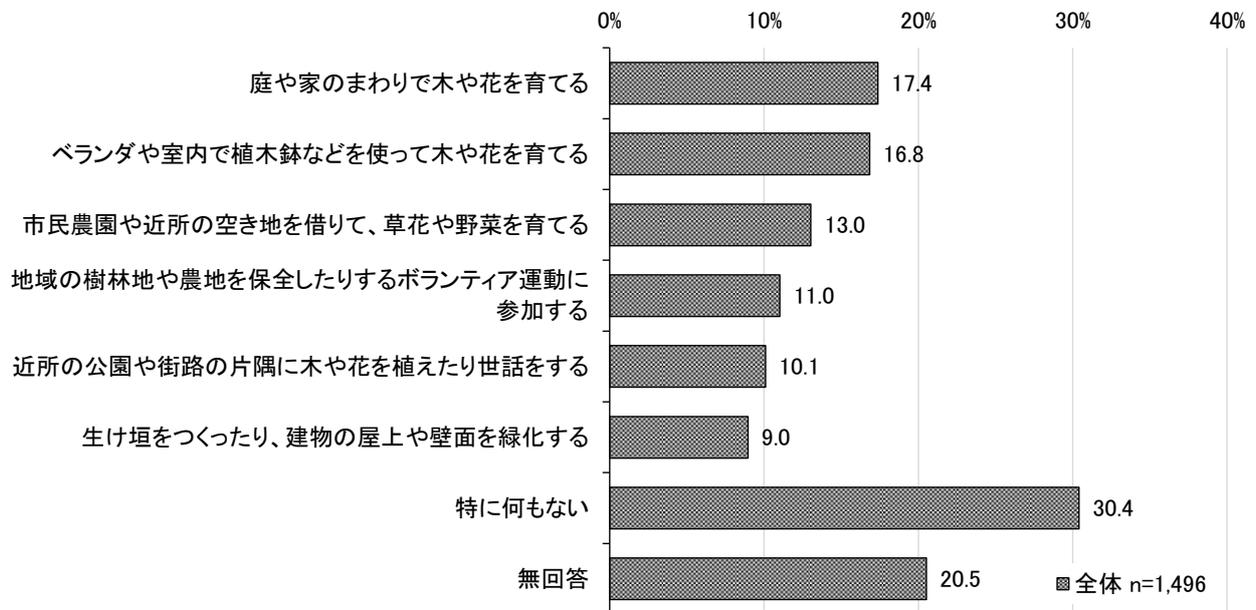
■時系列での比較

時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は減少傾向となっている。



■ 今後したい活動

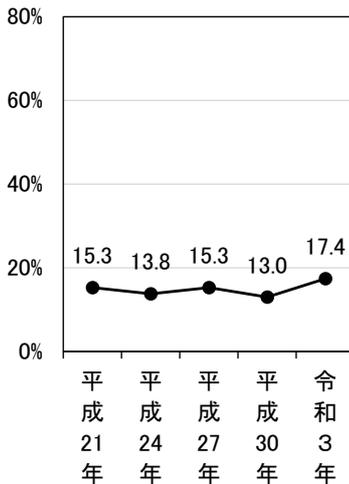
まちの緑化への活動内容（今後したい活動）については、「庭や家のまわりで木や花を育てる」が17.4%で最も高く、次いで「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が16.8%、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」が13.0%、「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」が11.0%となっている。なお、「特に何もない」は30.4%となっている。



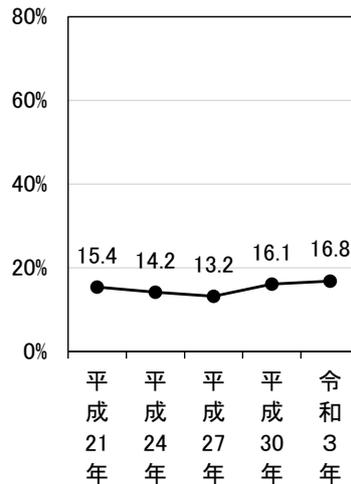
■時系列での比較

時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は概ね横ばいで推移している一方、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」、「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」、「近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする」、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」は減少傾向となっている。

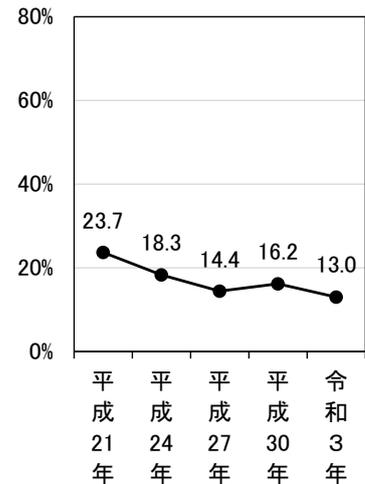
庭や家のまわりで木や花を育てる



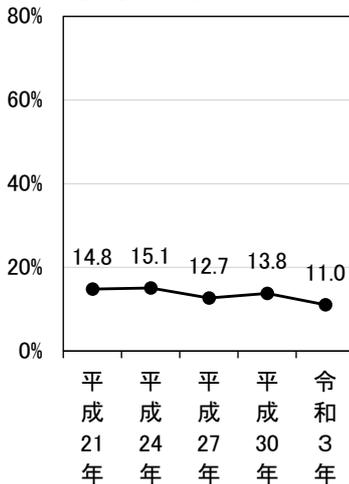
ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる



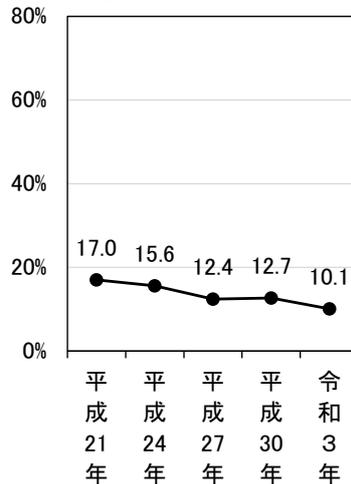
市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる



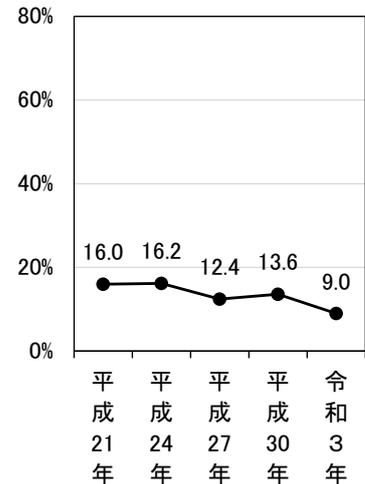
地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する



近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする



生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する

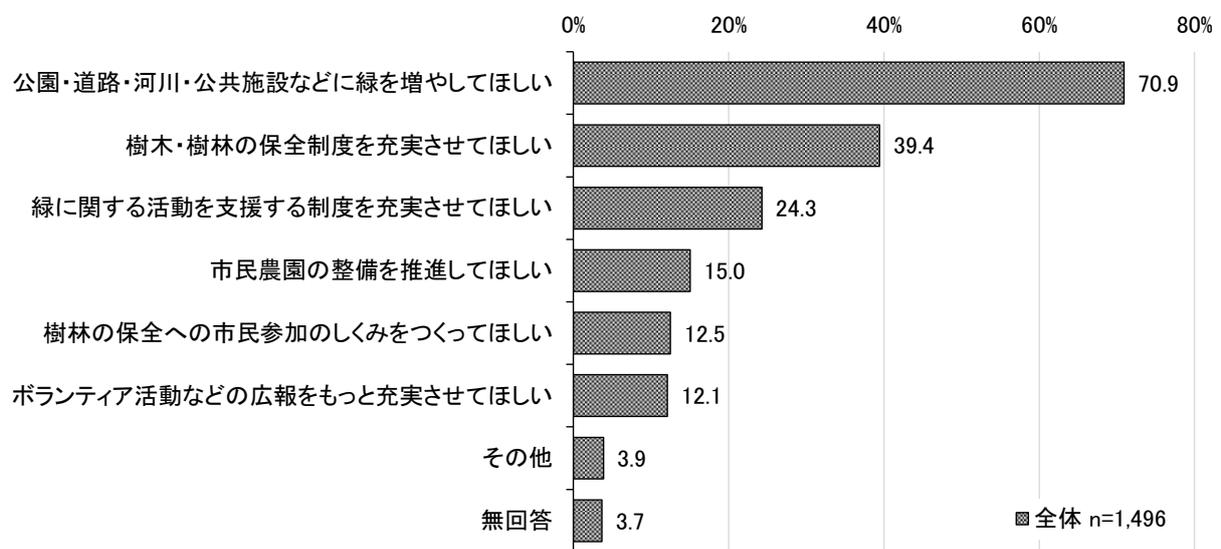


(9) まちの緑化への施策

◇「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が70.9%

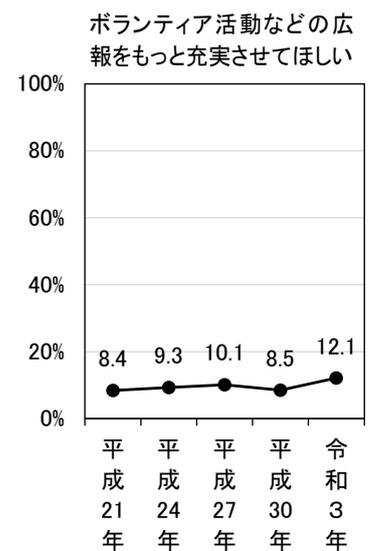
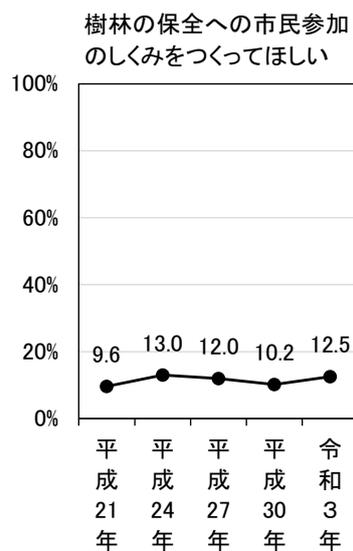
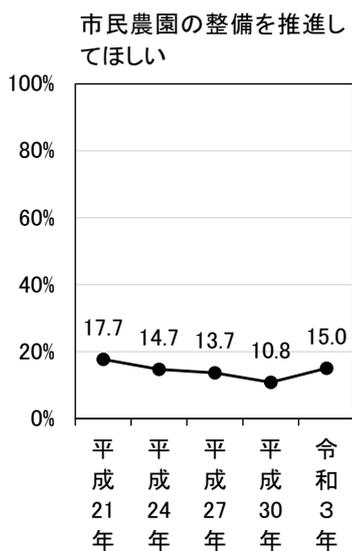
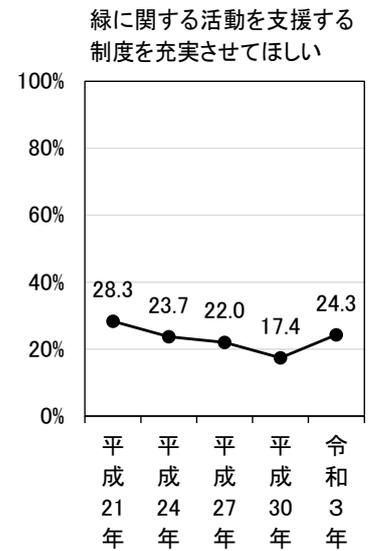
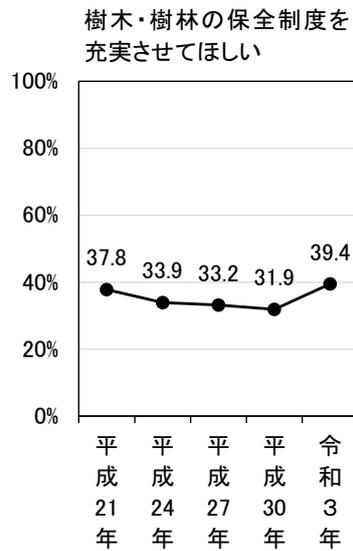
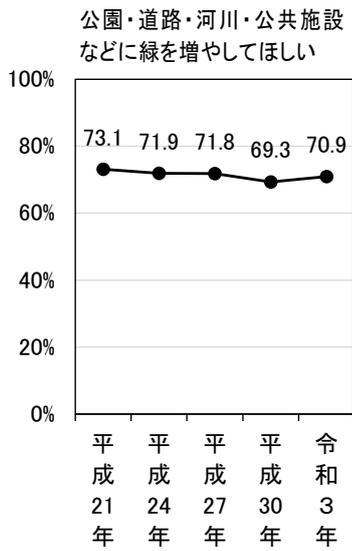
**問 42 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

まちの緑化への施策については、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が70.9%で最も高く、次いで「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」が39.4%、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」が24.3%、「市民農園の整備を推進してほしい」が15.0%となっている。



■時系列での比較

時系列で見ると、すべての項目で前回調査より増加している。



■年代別

年代別でみると、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は30歳代で7割半ばと高くなっている。「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は70歳以上で3割半ばと高くなっている。

	公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい	樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい	緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい	市民農園の整備を推進してほしい	樹林の保全への市民参加のしくみをつくってほしい	ボランティア活動などの広報をもっと充実させてほしい
単位: %						
全体 n=1,496	70.9	39.4	24.3	15.0	12.5	12.1
【年代別】						
18・19歳 n=17	76.5	29.4	41.2	5.9	11.8	11.8
20歳代 n=176	72.7	34.7	17.0	15.3	6.3	15.3
30歳代 n=246	74.0	36.6	18.7	17.1	15.9	7.7
40歳代 n=297	69.7	38.4	19.5	16.2	11.8	11.4
50歳代 n=206	72.8	36.9	20.9	17.0	11.7	11.2
60歳代 n=240	71.3	43.8	32.1	9.2	15.0	10.0
70歳以上 n=291	68.4	45.0	34.4	16.5	13.7	17.2